

## 令和3年度 第1回Web理事会報告

日 時：令和3年4月8日(木)

14:00～16:25

場 所 Web会議

出席者 八木原会長、亀山、平山、丸各副会長、尾形専務理事、小野寺、水島、合田各常務理事、相良、蛭田、町田、村岡、村上、山口、水村、前田、六角、唐木、古賀、山本、古林、小日向、安藤各理事  
中島、古屋各監事

### 1. 開 会

会長挨拶の後、事務局長から理事23名、監事2名の出席が確認され、事務局長がオンライン会議のホストを務めて議事に入った。

### 2. 議 題

#### (1) 議案第1号 議事録の承認について

2020年度第10回理事会議事録の承認について(事前送付済)

異議なく承認された。

#### (2) 議案第2号 JMSCA 財務の健全性確保策について

財務の健全性確保を考えるにあたり、財務状況や外部環境の分析を行った。先ず、内部分析として、過去8年間の正味財産比率、流動比率、経常比率、管理費比率、補助金等関与比率から財務状況を分析した。次いでコロナ禍、スポーツ政策、日本経済の動向、SDGs等から外部環境を分析した。その上で、本協会と同規模の公益法人との比較分析を行えば良いのだが、本協会のようなMulti Federationは他に無く、他のNFとの比較はしていない。これらの分析から今後の中長期的な視点で財務の健全性確保策の遂行に取り組むことが提示された。

常務理事会で指摘された文言を一部修正して、全員一致で異議なく承認された。

#### (3) 議案第3号 スポーツ仲裁自動応諾に関する規程について

スポーツ仲裁機構(JSAA)はCASの日本版であり、自動応諾は、ガバナンスコードにも示されている。選手の権利の救済であり、新規の規程である。

全員一致で異議なく承認された。

#### (4) 議案第4号 第59回全日本登山大会・新潟大会延期と今後の対応について

主管の新潟県山岳協会からコロナ禍の状況から延期決定通知が届いた。決定はあくまで主催者であるJMSCAが行うものであり、先ず本年の第59回新潟大会の中止が採決され、異議なく承認された。

2022年の高知大会が第59回、2023年の千葉大会が60回、新潟には2024年の第61回大会開催を依頼することで決議。

準備段階で発生した経費は本会が負担。

別途、全日本登山大会の在り方について、登山普及情報交換会で議論されており、2023年の千葉大会から改革を図ることにしたい。千葉の蛭田理事からは、計画概要の一部が示された。

#### (5) 議案第5号 令和3年度定時総会議事次第について

6月20日開催の日程は決まっているが、コロナ禍の現状に鑑み、開催は対面か、オンラインか決めかねている。対面の場合は会議室の予約が必要であるが、パンデミックの状況によっては急遽オンラインに切り替えなくてはならず、市井の会議室では、数週間前であってもキャンセル料金が発生してしまう。現在はJSOSビルの14Fを予約している。キャンセルの場合は8日前でもOKである。何れにしてもオンラインと対面のミックスでの開催も考えておかなければいけない。

日程は6月20日、実施方法は、対面とオンラインの混合ということで異議なく、承認された。

#### (6) 議案第6号 第4回CJC日程について

6月5日(土)～6日(日)の日程を6月18日(金)～19日(土)に変更する提案があり、異議なく承認された。

### 3. 報 告

#### (1) 報告第1号 次期役員候補者について 亀山役員選考委員長から経過報告があった。

会長候補者には丸誠一郎氏(現副会長)、監事候補者には中島正喜氏(現監事)、古屋壽隆氏(現監事)が選ばれたと報告。理事候補者の決定は後日になる。

#### (2) 報告第2号 審判・ルートセッター昇級について

A級審判員2名(平野直子、片山健太)、A級競技ルートセッター1名(杉田雅俊)、B級競技ルートセッター1名(堀創)の認定承認が報告された。

#### (3) 報告第3号 3月度月次会計報告

相良理事より暫定数値という事で資料に基づいて報告があった。

#### (4) 報告第4号 IFSC会長からの要請について

平山副会長より、コロナ禍で各NFからの来日は難しい。日本代表のトレーニング、セッターのセットの指導などアイデアは出た。日本代表の合宿の様子を動画にしてWeb seminarの形で質疑応答を行ったかどうかと考えている。予算は300万円程度なので限られてくる。年内には行いたい。

関連してIFSC、JMSCAのCAS仲裁費用についても話題に上った。CAS仲裁のJMSCA側の総経費は、6,904,894円との報告があった。

#### (5) 報告第5号 第34回LJC(印西)報告について

村岡理事より資料に基づいて報告があった。

#### (6) 報告第6号 第14回山岳スキー日本選手権報告について

唐木理事から口頭で報告があった。雪不足、雨天等の悪条件ではあったが、ほぼ予定通りに無事終了した。

(7) 報告第 7 号 国体功労者表彰対象者推薦について

推薦条件が厳しく JMSCA において該当者を見つけるのは難しい。もし、該当者をご存じなら 5/14 までに連絡をいただきたい。

(8) 報告第 8 号 国内旅行保険包括契約 (加盟団体向け) について

対象の保険商品として 3 保険について説明があった。既に各岳連(協会)に通知しており、研修会・講習会で適用になる。開催日程が変更または中止の場合は、主管岳連(協会)の申込時点で通知すればよい。

(9) 報告第 9 号 IFSC-ACC 総会

3 月 19 日午後 6 時より、IFSC アジア大陸連盟総会が開催された。

次期(2021-2025)役員選挙では、2 名が以下の役職に決定した。

・岡野寛：スポーツデパートメント、ルートセッター委員長

・水村信二：副会長(東アジア)

ACC の会長は中国の李致新(リーチシン)、筆頭副会長は前会長のアンソニー。

(10) 報告第 10 号 IFSC オンライン会議報告

ロシアにおける世界選手権ではユースは開催可能であるが、大人の大会は開けないとのこと。但し、CAS 判断前に決まっていた大会は WADA の判断に委ねられている。

(11) 報告第 11 号 遭対委員会・登山医学委員会常任委員について

2021 年度遭対委員会委員 (10 名)

常任委員 委員長：町田幸男(群馬)  
副委員長：服巻辰則(神奈川)、石田英行(大阪)、中丸忠男(神奈川)、楨昭善(東京)、井上哲也(神奈川)、青山千彰(大阪)、島添誠(兵庫)、角田守(群馬)、宮下直人

(茨城)

2021 年度 医科学常任委員 (8 名)

委員長：中島隆之、副委員長：上小牧憲寛、原田智紀、常任委員：恵秀彦、角田元、斎藤繁、三浦裕、江村俊也

(12) 報告第 12 号 CAS 仲裁判断を受けて今後に向けた報告について

合田常務理事から資料に基づいて報告があった。HP、月報には掲載済である。

総括は難しいが、提訴するべきではなかったという意見があるが、個人的には提訴してよかったと思う。戦わずして認めてしまうのは NF としては良くない。1 年以上、選手を不安定な状態にしたことは反省しなくては行けない。

(13) 報告第 13 号 名義後援承認・登山医学学会について

小野寺常務理事より報告があった。

(14) 報告第 14 号 第 2 期パリオリンピック強化選手選考について

コンバインド男女各 8 名、スピード男女各 3 名の強化選手の報告があった。

(15) 報告第 15 号 第 3 期パリオリンピック強化選手選考について

第 3 期 (2021 年 11 月 1 日～2022 年 3 月 31 日) の強化選手選考について報告があった。

(16) 報告第 16 号 2021 年度リード日本代表選手選考について

男子 11 名、女子 12 名の代表選手の報告があった。

(17) 報告第 17 号 世界選手権モスクワ大会代表選手選考について

古林理事から報告があった。

(18) 報告第 18 号 帰国後 14 日間の練習緩和措置について

古林理事からバブルを設置して隔離する報告があった。

(19) 報告第 19 号 第 9 回 LYC 要項について

村岡理事から報告があった。

(20) 報告第 20 号 佐賀県との連携協定について

佐賀県では、2024 年の佐賀国体を機に佐賀から世界に向けたトップアスリートを送り出そうという SSP 構想を掲げている。県民の一人一人が「する」「みる」「ささえ」でスポーツに関わろうとするこの構想を JMSCA と連携・協力しながら振興を図りたいという佐賀県からの依頼である。協定の内容についてはガバナンス委員会に諮る。

(21) 報告第 21 号 役員派遣について

(4 月 9 日(金)～5 月 13 日(木))

(1) 第 13 回噴火時等の避難計画の手引き委員会 4 月 15 日(木) 於：オンライン 尾形専務理事

(2) 国立登山研修所友の会役員会

4 月 19 日(月) 於：オンライン 尾形専務理事

(3) IFSC 総会 4 月 23 日(金)～24 日(土) 於：オンライン 平山副会長、水村理事、(小日向理事)

(4) 第 7 回ボルダリングユース日本選手権大会 4 月 24 日(土)～25 日(日) 於：鳥取県立倉吉体育文化会館 八木原会長、平山副会長

(5) ISMF 総会 5 月 7 日(金)～9 日(日) 於：オンライン 笹生委員長

4. 会務・役員派遣

(3 月 12 日(金)～4 月 8 日(木))

(1) 東京 2020 オリパラ国内競技団体協議会 3 月 12 日(金) 於：オンライン 尾形専務理事

(2) 令和 3 年度安全登山指導者研修会引継会議 3 月 13 日(土) 於：オンライン 尾形専務理事、水島常務理事

(3) JSPD 加盟団体代表者会議 3 月 17 日(水) 於：オンライン 八木原会長

- (4) スポーツ安全協会評議員会 3月18日(木) 於: オンライン 尾形専務理事
- (5) 神奈川県スポーツ施設指定管理者評価委員会 3月18日(木) 於: 神奈川県立山岳スポーツセンター 小野寺常務理事
- (6) IFSC Asian Continental Council 総会 3月19日 於: オンライン 平山副会長、水村理事、(小日向 IFSC 副会長)
- (7) 役員選考委員会 3月20日(土)  
於: オンライン 亀山副会長他
- (8) 国立登山研修所スタンダードマニュアル検討委員会 3月25日(木) 於: オンライン 尾形専務理事
- (9) 第34回リードジャパンカップ 3月26日(金)~28日(日) 於: 印西市松山下公園総合体育館 八木原会長、平山・丸副会長
- (10) JSP0 競技団体評議員連合会監事会 3月29日(月) 於: JSPS 12F 大会議室 尾形専務理事
- (11) 佐賀県 SSP 構想打ち合わせ 3月29日(月) 於: オンライン 平山副会長、尾形専務理事、村岡・水村理事、安井委員長
- (12) 役員選考委員会 4月2日(金)  
於: オンライン 亀山副会長他
- (13) 第14回山岳スキー競技日本選手権大会 4月3日(土)~4日(日) 於: 長野県北安曇郡小谷村 樽池高原スキー場周辺 八木原会長、丸副会長、唐木理事